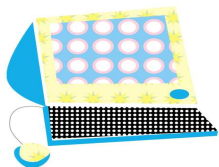


三愛 ビュー view

発行所：三船病院相談室
 創刊日：2003年8月15日
 〒763-0073
 香川県丸亀市柞原町366
 Tel 0877-23-2341
 Fax 0877-23-2344



コロナ禍におけるデジタル化・IT化

副院長 川田 浩

2020年は新たな時代の突入となるかも知れない。ご存じのコロナ禍であり、「コロナにかからない、コロナをうつさない」ため、全世界で「三密」を避ける新生活スタイルを余儀なくされている。その為、楽しみにしていた東京オリンピック2020をはじめ、様々なイベントも延期や縮小されるなど、とんでもない時代である。コロナ禍でわかったことであるが、日本はコロナ感染者数の把握・公表、コロナ感染対策、特別給付金などの行政サービスのスピードが信じられないくらい遅いのである。その理由はデジタル化・IT（情報技術）化が、欧米諸国、シンガポール、中国、台湾、韓国等のIT先進国より遅れているからである。デジタル化・IT化において、日本は後進国であり、先進国に比べて3~4周は遅れていると言われている。情報のデジタル化にはシステムの構築に時間とお金がかかり、そう簡単にはできるものではない。日本は早急にデジタル化を推進しなければ、世界の発展から取り残されてしまうだろう。

デジタル情報システム構築後のシステム運用において一番重要なことは、個人情報保護することである。デジタル化された多量の個人情報がネットに流失したり、メディア（記憶媒体）を盗まれたりする事件が後を絶たない。デジタルデータはインターネットで瞬時に、かつ、多量に世界中で閲覧される危険性があるため、情報セキュリティの体制を整える必要がある。

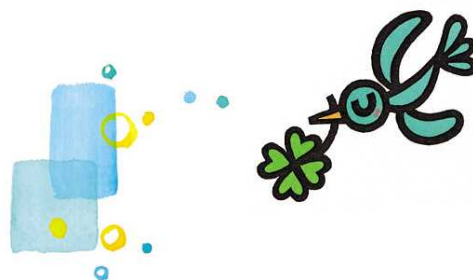
三船病院では業務の効率化を図るため、デジタル情報システム（院内LANによる情報システム）の構築や電子カルテの導入を精神科病院としては早期に行っている。また、情報システム委員会を設置し、情報システムの導入や運用上の問題点を検討し、情報セキュリティの強化や地球環境のためペーパーレス化を推進している。情報セキュリティで重要なのが、コンピューターウイルスの感染防止と個人情報漏洩の防止である。また、当院では個人情報保護委員会を設置し、全職員の意識を高めて個人情報保護に努めている。個人情報漏洩を防ぐため、個人情報の管理を徹底し、患者様の個人情報を保護していますので、安心して当院の医療サービスを利用して頂ければと思います。

コロナ禍でテレワークやオンライン授業が行われるなどICT（情報通信技術）による新生活様式が始まって

いる。医療機関でも新型コロナの院内感染防止のため、患者様にはご家族との面会や院外外出、外泊の自粛に協力して頂くなど入院生活の環境が大きく変わっている。当院ではデジタル機器での新型コロナなどの感染対策として、近々、オンライン面会や発熱検知・顔認証AIカメラを導入する計画をしている。オンライン面会はタブレット端末を利用して行う予定であるが、システム構築や運用方法などについて、現在のところ検討中である。発熱検知・顔認証AIカメラは画像上で発熱者を検知し、アラート表示するため、体温測定業務の効率化に有用である。

院内感染を防ぐためには、患者様だけではなく、職員の院内移動を減らす必要がある。電子カルテや院内情報ネットワークシステムが職員の院内移動を減らすことにも寄与しているが、さらに職員移動を減らすため、各病棟にコピー機を配置した。ペーパーレスのシステムを構築するのが理想であるが、説明者や同意者のサインなど書類に直筆記載が必要であり、現時点ではペーパーレスシステムを断念し、コピー機を購入した。コロナ騒動も数年内には終息すると思われるが、「喉元過ぎれば熱さを忘れる」となってしまうといけない。新型インフルエンザなど新たな感染症がいつ発生するかわからないため、このコロナ体験を次のパンデミック対策に生かさなければならない。今後のパンデミック対策として、オンライン診療の導入に向けての準備しておく必要があると思われる。

最後に、当院がデジタル化を進めるのは、多忙な業務を効率化することにより、直接的な患者サービスの時間を増やし、ひいては医療の質を向上するためです。つまり、デジタル化は患者様のためなのです。



「新しい生活様式」のなかでのマスクの使い方

内科医師 高橋 章

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、「新しい生活様式」として、一人ひとりが感染防止の3つの基本である、①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや、「3密(密集、密接、密閉)」を避ける等の対策を取り入れた生活様式を実践することが求められています。

マスクは飛沫防止の拡散予防に有効で、「新しい生活様式」でも一人ひとりの方の基本的な感染対策として着用が奨励されています。ただし、マスクを着用していない場合と比べると、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、屋外で人と十分な距離(少なくとも2メートル以上)が確保できる場合には、マスクを外すようにしましょう。マスクを着用する場合には、強い負荷の作業や運動は避け、のどが乾いていなくてもこまめに水分補給を心がけましょう。また、周囲の人との距離を十分にとれる場所で、マスクを一時的にはずして休憩することも必要です。

参考:厚生労働省

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_coronanettyuu.html

熱中症に用心して マスクを使用しましょう

マスクを外す目安

2m以上 2m以上
← 十分な距離 →

ウイルス感染対策は忘れずに!

屋外で
人と2m以上
(十分な距離)
離れている時

マスク着用時は

- ✓ 激しい運動は避けましょう
- ✓ のどが乾いていなくても
こまめに水分補給をしましょう

三船病院 委員会活動紹介

栄養管理委員会

委員長 栄養管理課 岡 浩実

栄養管理委員会では栄養指導件数、残飯調査の結果、食事・配膳指導の結果、食品衛生に関する事項等の報告・検討をおこなうため、毎月1回定例会を開催しています。

活動内容の1つとして、食事時間に病棟へ訪問し配膳や喫食量の確認を行っています。訪問時には患者様から希望メニューや料理の感想を聞くことが多くなりました。最近では摂食嚥下機能の確認も病棟スタッフに協力いただき行っています。常食でも料理によっては「噛みにくい」「飲み込みにくい」という場合があり、現状の食形態を維持しながら完全でおいしく食べていただけ

るように献立を調整していくことも課題の1つです。また食品衛生については、基本となる衛生基準を順守し、年間を通して食中毒事故防止に努めています。今後も栄養管理委員会の活動を通して、変化していく栄養管理、衛生管理についての情報を発信していきます。また食事を楽しみにされている患者様に安全でおいしい食事を提供し、適切な栄養管理ができるよう活動を続けていきます。



《委員会》

- | | | |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会(第1水曜日) ・個人情報保護委員会(第1水曜日) ・情報システム委員会(第1水曜日) ・クリニカルパス委員会(第1水曜日) ・地域生活支援委員会(第1水曜日) ・行動制限最小化委員会(第1金曜日) ・人権委員会(第1金曜日) ・医療安全管理委員会(第2水曜日) | <ul style="list-style-type: none"> ・衛生委員会(第2水曜日) ・業務改善委員会(第2水曜日) ・診療録管理委員会(第2金曜日) ・薬事審議委員会(第2金曜日) ・院内感染対策委員会(第3金曜日) ・栄養管理委員会(第2水曜日) ・褥瘡予防対策委員会(第2水曜日) ・患者サービス向上委員会(第2水曜日) | <ul style="list-style-type: none"> ・病院機能評価委員会(水曜日) ・倫理委員会(年1回) ・医療ガス安全管理委員会(年1回) ・予算管理委員会(年1回) ・接遇管理委員会(年2回) ・診療情報提供委員会(随時) |
|--|---|---|

三船病院医師からのメッセージ・・・



「涼しくなっても気をつけること」

三船病院 非常勤医師 山中 真美

今年の夏は酷暑と呼ばれる暑さでしたが、この原稿が紙面の載るころには秋らしい涼しさを感じられるようになっているでしょうか。

大学生のころ、微生物学という科目がありました。人体に影響を及ぼすウイルスや細菌、真菌について学ぶのですが、20年たった今でも時々思い出すのが「2日目のカレーはじゃがいもの中まで熱々になるくらい加熱しなさい」という当時の教授の言葉です。

この2日目のカレーの話に関係するのがウェルシュ菌という自然界に広く分布する細菌です。ウェルシュ菌には耐熱性の芽胞(殻のようなもの)を作る部族がいて、時に食中毒の原因にもなります。ウェルシュ菌による食中毒の舞台は多くの場合、寸胴鍋などで大量に作る肉や野菜が入った煮込み料理(スープやカレー類)です。ウェルシュ菌を含む大抵の細菌やウェルシュ菌が作る毒素は加熱調理することで容易に死滅しますが、熱に大変強い芽胞は生き残ります。調理したものを放置し50℃くらいの中途半端な温度になると芽胞が発芽し始め、出てきたウェルシュ菌は酸素の少ない鍋底や食物の中心部などでどんどん増えていきます。これらを大量に摂取することで、比較的軽いながらも腹痛や下痢などの食中毒症状が起きるのです。しかし逆に見れば、

- ①増殖防止 : 調理後は早めに食べる。保存するなら小分けにして素早く冷まし、5℃以下で保存する。
- ②加熱殺菌 : 温め直す場合はかき混ぜながらしっかり加熱し、細菌と毒素をやっつける。

この2点をきちんと守れば食中毒を防ぐこともできるわけです。

先述の微生物学での授業は、②の教えだったことがわかります。(もちろん①も習ったはずなのですが、勤勉とは言えない学生だった私はさっぱり覚えていないのであります・・・)。

皆さんも、寒い時期でも食品の傷みにはくれぐれもご注意を。

出典: 社団法人 畜産技術会「食品により媒介される感染症等に関する文献調査報告書」

【三船病院の理念】 病院の愛、家族の愛、社会の愛(三愛)に包まれた患者様の医療を目指します。

【病院の基本方針】

1. 急性期精神医療から精神科リハビリテーションまで多様なニーズにお応えします。
2. 患者様とご家族に信頼される病院作りをします。
3. 患者様の権利と尊厳を尊重し、療養生活の質の向上に努めます。
4. ご家族と一緒に患者様の退院促進と地域生活支援を積極的に取り組みます。
5. 地域における社会資源を活用・開拓します。

【介護老人保健施設 福寿荘】



「“伝えること”の大切さ」

支援相談員 安藤 由佳

相談業務で「伝えること」の難しさに悩むことがよくあります。伝えたい相手は利用者の方、ご家族、職員、他施設・病院の方など様々であり、伝え方(面談・電話・手紙・FAX など)も、伝える内容も異なるため、毎回どのように話せばきちんと伝わるのか、話した後でも理解してもらえたのかどうか不安に思ってしまう。自分が説明できたと思っていてもあいまいに伝わっていたり、誤解があったりすると、もう一度相手の方に時間をとってもらったり、周囲の人にフォローしてもらったりすることになるため、「できる限りはっきりと、正確に、簡潔に」、「必要に応じてオブラートに、優しく」、を心がけ、相手の環境や心身状態、話し方(声の大きさやトーン)や話すタイミング、どの連絡方法が一番伝わりやすいのかを思い描いてから、連絡するようにしています。

特に今は老人保健施設として、利用者の方の退所の促進も行っているため、入退所が多く、それに伴い連絡することがとても多くなっており、時に心がけもあいまいになることもあります。しかし、“退所”は利用者の方にとって、望まないものであることも多いため、より「伝えること」の大切さを自覚しなければいけない時もあります。そんな時には、「自分が聞いたらどう思うか」、「できる限り不安が少なくなるためにはどうすればよいか」を思い返すようにしています。まだまだ、上手く伝えられないことも多くありますが、少しでも利用者の方が穏やかに、安心して生活できるように努力をしていきたいと思えます。



【三愛会コミュニティケアセンター】

「障害者就業・生活支援センターくばら」 ～現状と今後の取り組みについて～

就労支援ワーカー 安久都 仁美

障害者就業・生活支援センターくばらでは、会社で働くこと、地域で生活することに関する悩みや困りごとがある方に対して、雇用・福祉・教育などの関係機関と連携しながら就労と生活の両方から相談・支援を行っています。また障害のある方を雇用している、またはこれから雇用を考えている企業に対しての相談や情報提供を行っています。

相談に来られる方の多くは、仕事が続き離職を繰り返しており、1人での就職活動に不安を感じています。就職後は長く継続して働くことを目標としているため、生活面も含めた職業準備が大事だと考えています。これまでくばらでは企業での職場体験を積極的に実施してきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により困難になっています。それに代わる、就職に向けた準備とアセスメントとして今年度から「くばら職業アセスメント」を新規事業で立ち上げ、ピッキング、プラグ・タップ組立、重さ計測、PC入力、事務作業、清掃業務等で実際の作業場面を設定し、作業能力や適応の可能性を確認しています。

就職を希望されている方が増えている一方で、求人数が減少していることから、障害者雇用の理解促進と雇用を促すべく、ハローワーク、働く場開拓員、関係機関と連携を密に行っていかなければなりません。雇用率未達成企業やゼロ企業へのアプローチも検討していきたいと考えています。

今後くばらとしては、中小企業における障害者支援担当者との意見交換会を検討しています。同時に、今後就職を希望される方へ向けて、ピアサポート活動も行っていきたいと思えます。



《編集後記》

仲秋の候、みなさまいかがお過ごしでしょうか。1面でもふれましたが、コロナウイルスの大流行により私たちの生活は大きく変わっています。新しい時代にあったシステムや機能を取り入れながらも、一方で大切にしてきた姿勢や地域への思いなどはこれからも変わらず大事にしていきたいと思っています。(三船病院相談室 PSW)